

2014年(平成26年)12月26日(金) NO 81号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県川口市芝塚原 2-3-11 エステートミア	TEL 048-261-3412
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検・工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

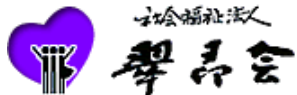
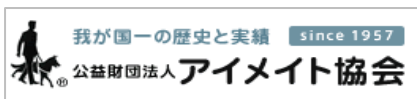


【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会青年部	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体企業】



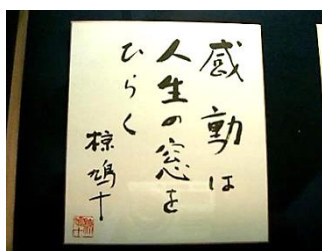
ごあいさつ



今年も色々なことがありましたね。
 念頭のあいさつには、同じ甲午の干支で 120 年前に起きた日清戦争を引き合いに、中国との関係悪化について記載しました。
 事は、尖閣から小笠原諸島にまで拡散しましたが、より不遜な事態に発展せず安堵しています。
 また、4 月には消費税が 8% に改訂されました。10% 先送りに少しほっとしています。あのまま上げるようだと日本経済はガタガタになっている事でしょう・・・
 さらに、STAP 細胞では、とうとう検証するには至りませんでした。
 IPS 細胞の発見に笹井教授が焦り、未確定のままに見切り発車した感は否めません。
 多分、もともと存在しなかったのでしょうか・・・それは小保方さんが一番よく知っていると思います。
 日々の情勢は、時を刻みながら変化していきますが、それに浮き足立つことなく、かつ心棒を曲げることなく、時代に柔軟に合わせながら変化し、そして正直に生きていく事が最も大切だと思います。
 それでは皆さん、良いお年を・・・
 代表取締役 木戸 良樹

今月の良い話 故 椋 鳩十 氏

児童文学作家の故・椋鳩十(むく・はとじゅう)さんが、こういう話をしておられる。
椋さんの故郷は信州伊那谷の小さな村。三十年ぶりに帰省すると、小学校の同窓会が開かれた。
禿げ上がった、シワが寄ったり、初めは誰が誰やら分からなかったが、次第に幼い頃の面影が蘇
ってきた。だが、一人だけ、どうしても思い出せない。背が低く色が黒く、威風がある。
隣席の人に聞くと、「あんな有名だったやつを忘れたのか。ほら、しらくもだよ。」



椋さんは、えっ! ?となった。
しらくもは頭に白い粉の斑点が出る皮膚病である。
それを頭にふき出して嫌われ、勉強はビリでバカにされ、いつも校庭
の隅のアオギリの木にポツンともたれていた。
ゆったりとした風格を滲ませてみんなと談笑している男が、あのしらく
もとは……。

聞けば、伊那谷一、二の農業指導者としてみんなから信頼されているという。
二次会で椋さんは素直に、
「あのしらくもがこんな人物になるとは思わなかった。何かあったのか」と聞いた。
彼は「誰もがそう言う」と明るく笑い、「あった」と答えた。

惨めで辛かった少年時代。

彼はわが子にはこんな思いはさせまい、望むなら田畑を売っても上の
学校にやろうと考えた。だが、子どもの成績はパツとせず、勉強するふうも
ない。ところが、高校二年の夏休みに分厚い本を三冊借りてきた。
その気になってくれたかと彼は喜んだ。

が、一向に読むふうがなく、表紙にはホコリが積もった。

彼は考えた。子どもに本を読めというなら、まず自分が読まなければ、と。
農作業に追われ、本など開いたこともない。

最初は投げ出したくなった。それでも読み続けた。

引き込まれた。感動が込み上げた。その感動に突き動かされ、三回も読んだ。

その本はロマン・ローランの『ジャン・クリストフ』。

聴覚を失ってなお自分の音楽を求め苦悩したベートーヴェンがモデルといわれる名作である。

主人公ジャンは自分と違って、ジャンはどんな苦しみにも落ち込もうが、必ず這い上がってくる。

火のように生きている。自分もこのように生きたいと思った。そのためには何か燃える元を持たなけ
れば。自分は農民だ。農業に燃えなくてどうしよう……。

彼は農業の専門書を読みあさり、農業専門委員を訪ねて質問を浴びせ、猛烈に勉強を始めた。

斬新な農業のやり方を試みて成功させ、そして、しらくもはみんなから頼りにされる農業指導者と化
した。



「感動というやつは、人間を変えちまう。そして奥底に沈んでおる力をぎゅうっと持ち上げてきてくれる」
人間の目は前に向かって。前向きに生きるのが人間であることを表象しているかのようである。
感動は人を変える。笑いは人を潤す。夢は人を豊かにする。
そして、感動し、笑い、夢を抱くことができるのは、人間だけである。

記事提供 到知出版社

今月の良い話 「すみません」と「ありがとう」

「あの・・・これ、違いますか？」ある朝の出来事です。
 大学生の陽平さんは、慌ただしく人が行き交う駅の改札口を出たところで後ろから声をかけられました。振り返ってみると、通勤途中とおぼしき女性が定期券を差し出しています。
 慌ててポケットを確認すると、先ほどしまったはずの定期券がありません。
 陽平さんのポケットからこぼれ落ちたものを、すぐ後ろにいた女性が拾ってくれたようです。
 陽平さんはとっさに「すみません」と言って、差し出された定期券を受け取りました。
 大教室での講義が終わって席を立とうとした陽平さんは、前の座席に座っていた学生がテキストを置き忘れたまま席を離れようとしていることに気がつきました。
 「これ、忘れてるよ。」陽平さんの声に振り返った女子学生は、テキストを確認すると「ありがとう」と言ってほほ笑み、頭を下げました。そのひと言は、とてもすがすがしく聞こえました。

陽平さんが所属する演劇部の部屋で来月に控えた公演の作業を取り組んでいるところへ、イギリスからの留学生で演劇部員のアランがやって来ました。アランは「これ、舞台上に置き忘れていたよ。」と言って、陽平さんの名前が書かれた台本を差し出しました。
 陽平さんが「あっ、すみません。ついっかりして」と言って台本を受け取ると、アランは「なぜ謝るんだい？」と不思議そうな顔をして、舞台の方へ行ってしまいました。



その日の帰りの電車の中で、陽平さんはアランとのやり取りを思い返していました。
 「なぜ謝るんだい？」というひと言が、少し気になっていたのです。
 “確かに自分は「すみません」と言っただけで・・・アランには親切にもらったんだから、「ありがとう」と言ったほうがよかったのかもしれない” 陽平さんは朝の改札で定期券を拾ってくれた女性に対しても、アランのときと同じように「すみません」と言っていたことに思い当たりました。
 そして、講義で一緒になった女子学生から「ありがとう」という言葉をうけたときに感じた心地よさも・・・。
 思いもよらないアランのひと言によって、陽平さんは口癖のようになっていた「すみません」という言葉について、あらためて考えさせられたのでした。

日常生活の中では、時にちょっとした親切に出会うことがあります。
 自分が落としたものを誰かに拾ってもらったり、道幅の狭い場所を通り抜ける際に道を譲られたり、建物へ出入りするときに一緒になった人がドアを押さえてくれたり、エレベーターのボタンを代わりに押してくれたら・・・。そんなとき、私たちは親切にもらった相手に対して、どのような言葉を返しているのでしょうか。陽平さんのように「すみません」と言う場合もあるかもしれません。「すみません」と言う言葉は、お礼を言うときにも使われますが、謝罪や恐縮の気持ちを表す言葉です。確かに、他社から受けた親切に対して“申し訳ない”という気持ちを持つことも少なくありません。

一方、「ありがとう」は漢字で「有り難う」と記されるように、存在するのが難しいこと、めったにないことを意味します。歴史をひもとくと、平安時代の『枕草子』には、「ありがたきもの、舅にほめられる婿、また、姑に思はるる嫁の君」という例があります。この「ありがたい」とは、もとは神をたたえる言葉であったといえます。そして、室町時代ごろには仏の教えを聞いて感激する意で用いられており、めったにないことを感謝する意味になったのは江戸中期(元禄時代)以降であるということです。
 このように神仏に対して使われていた言葉が、時を経て、人に対するお礼の言葉として使われるようになってきたのです。

////////// 記事提供 公益財団法人モラロジー研究所 //////////

事件ファイル NO81 各種犯罪の傾向と特徴

・・・ひったくり・・・

曜日関係なく18時～23時台が50%占。60歳以上45%。駅周辺より住宅街50%。被害93%が女性。

・・・自動車盗・・・

月別発生は均等。月極駐車場が38%と最多、コンビニはカメラ設置が普及し0.1%と激減。キー有りが18%。

・・・車上ねらい・・・

月別発生は均等。月極駐車場が32%と最多、施錠なしが32%。

・・・空き巣・・・

夏場より冬場多い。戸建が62%。居室から32%、玄関以外と多く13%。無締まりが最も多く27%、ガラス破りは21%。

・・・自転車盗・・・

冬場より夏場多い。駐輪場32%が最も多く、次いで道路上18%。施錠なし60%。

・・・オレオレ詐欺・・・

被害のほとんどが7～80歳台。ほとんどが平日、土日は皆無。14時～17時多い。

* 参考 神奈川県警 HP 資料

プロ太の小話集 NO81 『助言』

ある老婆がホテルに泊まった。

チェックアウトのとき、送迎バスはすでに到着しているのに気付いてない様子の老婆に知らせようとして、自分の言った事にはっとした。

ホテルマンはこう言ったのだ。

「おばあちゃん、お迎えが来ましたよ・・・」



//////////
今月のK-PURO ニュースいかがでしたか？

事件ファイルは、各種犯罪の傾向と特徴を記載しました。

これだけの要点を知っておくだけでも、被害を未然に防げる部分は多々あると思慮します。

家の扉や窓の未施錠からの侵入、自転車の錠のかけ忘れや自動車のキー差っ放しなど、自ら招いているケースも以外に多いのです。ご注意下さい。

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です。(体長10メートル・体重1トン・無敵無敗)